

子ども特派員 わが街を行く！

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、板橋小学校6年生の下川幸乃さん（下段左）、飯田周輝さん（下段右）、後藤優佳さん（上段左）、鈴木菜衣子さん（上段中央）、福田菜さん（上段右）が、ワークショップ江戸を訪ねました。



今回の特派員は、私達です！

リアルな江戸にレッツゴー！！



ワークショップ江戸ではなんと、年間、ドラマを約50本、映画を約10本もっているそうです。「一休さん」や「大奥」などの撮影もされました。私たちが訪ねた日は、山本耕史さん主演の「薄桜記」というドラマの撮影がありました。撮影が休憩中だったので、撮影現場の中に入ることができました。現場には、軽い石など、いろいろなものが手作りで作られていて、とてもびっくりしました。

施設内を案内してもらっていると、日本庭園に到着。そこには池があり、コイが泳いでいました。そこは、歴史が感じられ、自然ともふれあえる庭園でした。さらに奥に進むと、「一休さん」の撮影で使われた橋なども見ることができ、テレビで見た時より少し小さめに見えたので、不思議に感じました。

最後に、エキストラの方々にも質問することができました。「初めて来た時、電線がなくて、とても歴史を感じられ、本当に江戸時代に来た感じがした」と、ワークショップ江戸の第一印象を話してくれました。

ワークショップ江戸は、江戸時代がリアルに再現されていて、歴史がとても深く感じられました。皆さんもぜひ江戸時代にタイムスリップしてみませんか？



ゼネラル・プロデューサーの天野さんに質問タイム！

ワークショップ江戸の魅力は？

「お城を中心に、江戸時代の庶民や武家の生活の変化、歴史を学べる施設。本当に江戸時代を感じることができます」
年間に何人くらいの方が来ますか？

「撮影に来た人もあわせて約5万人です」

最後に、私たちは、芸能関係のお仕事につきたいと言ったら、「俳優にはだれにでもなれるけど、だれもはなれない」という言葉がありました。とても心に残りました。



学校通信

このコーナーでは、市内小中学校のお知らせ情報を掲載します。

【伊奈中学校】

資源回収について

日時：8月18日(土) 午前8時～

小雨決行

※雨天の場合は、19日(日)に順延。

同校ホームページに掲載します。

▼回収物：・新聞、雑誌（ひも

でしばって出してください）

／・段ボール／・アルミ缶

▼対象：伊奈中学校区内の方

▼集積場所：関東鉄道バスターミナル／三島小学校

▼方法：午前7時30分までに自宅前に出してください。PT

A地区委員がご家庭を回り、回収します。

問 伊奈中学校 ☎58-0201